

第11回講演会・講習会を開催！

第11回を迎える今年は、8月20日（木）の午前中に大阪府社会福祉会館で講演会を、20日（木）の午後と21日（金）に大阪府立生野聴覚支援学校を会場に講習会を開催しました。今回は愛知淑徳大学医療福祉学部教授で言語聴覚士として人工内耳に関わっておられる井脇貴子氏に「人工内耳装用児の多様性について」と題してご講演いただきました。昨年10周年をひと区切りとし新たな一歩を踏み出した今年の講演会・講習会でしたが、例年のように多くの方に参加いただき、活気あふれる会となりました。最後になりましたが、講習会会場としていつもお世話をいただいている大阪府立生野聴覚支援学校には心よりお礼を申しあげます。

写真や参加者のアンケートからの感想も含めて、第11回講演会・講習会の様子をお伝えします。



～講演会～

『人工内耳装用児の多様性について』

講師：愛知淑徳大学医療福祉学部

教授 井脇 貴子氏

講演の中で、人工内耳の現在にいたる経緯や最近の動向をご自身の経験と重ね合わせながらのお話や、病院での診察や人工内耳手術のあとの親のフォローの必要性、人工内耳装用児の評価法、人工内耳装用児の抱える課題などについてお話をいただきました。

最近の人工内耳の技術の向上もあり、人工内耳の装用により音の聞こえは大幅に改善されるものの、騒音や多人数の会話に対する弱さは依然としてあり、また補聴器装用の子どもと同じように、言語を獲得していく上での困難さも残っている。そんな中で、「読み書き能力の獲得」という共通の目的を持つ教師と言語聴覚士（ST）がお互いのノウハウや情報を持ち寄って、指導法や効果的な教材について検討するような場があってもいいと思いました。

講演の最初に井脇先生は『我々は統計学的に人生を送っているわけではなく、逸話的に人生を送っている』という言葉を紹介されました。私たちは自分の身の回りで見たり、聞いたりした事をもとに人生を送っている。つまり、どんな人に出会い、どのように関わり、どのような話を聞くか、そんなことで人の生き方は変わっていくということなのでしょう。井脇先生の一人ひとりの子どもに真剣に向き合われる姿勢は、その子にかかわる一人として、その人生に与える影響の大きさを強く感じておられるからなのだろう、と思い至りました。



アンケートから

～講演会について～

人工内耳装用の子どもたちが増えてきている中、医療との連携はより重要になってきていることを（お母さんを通じて聞かせていただくだけでなく）改めて感じました。特に、人工内耳の機器の進歩が早く、担当の子どもたちが装用しているものの機能や、マッピングで今どういった状態で音が入っているのかを知ることで、より効果的な聴覚活用をすすめることができると感じました。

人工内耳の装用について、保護者や病院の方の気持ち、考えが少しわかったような気がする。学校ごと、教師ごとに考え方ややり方が違うとおっしゃったのが印象的だった。当たり前のことだが、みんな違うからこそ、どこまで共通した認識を持って学習指導していくかが大切だと思った。

～講習会について～

「教育オーディオロジーの基礎」

少人数で実習を中心にしていただき、とてもわかりやすかったです。補聴器や聴力検査の基本的なところがよくわかりました。学校で又、実践を重ねていきたいと思います。

「聴覚生理」

きこえのしくみが非常にわかりやすかったです。同時に耳の病気とその原因もスッキリしました。難聴の原因は不明といわれていましたが、最新の研究で明らかになったことも知ることができてよかったです。

「補聴器・人工内耳の保守管理」

本当に基礎的な事を一から丁寧に教えていただき、大変勉強になりました。少人数でしたので細かな質問にも、具体的に答えていただき、参考になりました。

「補聴器の特性」

実習や実際に触れてみる体験が多く出来、とても理解しやすくて、大変勉強になりました。また、説明も詳しくしていただき、今まであやふやになっていたことがよくわかるようになることが多かったです。

「障害の理解啓発」

具体的な方法やソフトを教えて頂き、参考になりました。ソフトで音声加工をしたものは、いろいろ活用できそうです。”いっしょに楽しめる”という点を考えさせるのが良いと思いました。

「言語指導（ことばの教室）」

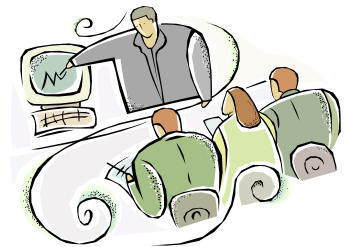
聴覚障害だけでなく、LDを合わせもつ子ども達への指導について知ることができ、よかったです。

音韻形成の大切さが確認できました。工夫された教材を是非手に入れて使いたいです。

「人工内耳（基礎）」

講演にひきつづき、井脇先生に人工内耳の基礎からマップ表の見方まで丁寧に教えて頂きとても参考になりました。

人工内耳について少しずつ分かってきた。井脇先生のきめこまやかな配慮等をお聞きして、関わっている子どもたちも、先生のようなSTさんの下で診ていただけたらな…と思った。



情報保障



通常の学級における支援



F M補聴器

「難聴学級(小)」

難聴学級の取り組みの話、とてもわかりやすかったです。どのような指導をしているのか具体的に教えていただくことができました。また聴こえに違いがある子ども達に対しそれぞれその子どもさんにあった指導をされているように感じました。何よりも子どもに身につけさせたい力をはっきり持っていらっしやって、それに向けて指導を積み重ねていらっしやる様子にも感心しました。

「知っ得基礎知識」

聴覚障害に関わる内容を幅広く教わり、普段の活動の中で疑問に思っていたdBHL とdB SPLの違いや、補聴器の特性の見方、フィッティングなど知ることができたり、また基本的なことを再確認することができた。

「福祉制度と日常生活用具の活用」

普段聞けない福祉制度のことは、全く知らなかったのですが、補聴器の購入するしくみから手当てまでよくわかりました。日常生活用具なども見ることが出来て良かったです。

「聴覚学習」

具体的な実践に基づいた内容で、とてもわかりやすかったです。実際の指導場面もを見せていただき参考になりました。教材等たくさん紹介していただいたので、いろいろな遊びの中に取り入れて生きたいと思います。

「人工内耳(情報交換会)」

日頃悩んでいることを、直接井脇先生に伺うことができたので大変参考になりました。皆さん人工内耳には悩まれていて、質問も事例もたくさん持ってきて出されていました。来年も是非この講座を開いて頂きたいです。人工内耳については情報交換する場が少ないのでよろしくお願いします。

「補聴器の調整」

具体例、実際に色々なパターンに設定した補聴器を用意していただき、本当によくわかりました。

理論がよくわかりました。日頃、乳幼児をやっていますのでBOA、VRAのプレゼンまで見せていただけで勉強になりました。

「障害認識」

障害認識の段階については、「聴者の場合」というものもあって、大変興味深く感じました。また、先生のお話から、障害者、聴者ということではなく、色々な人と関わりながら、人としてどう自分を成長させ、深めてい続けることができるか、子どもたちに対しても、自分自身についても、考えていきたいと思いました。

「言語指導(幼児期)」

日本語を習得するのは、手話に比べると負担の大きいことですが、楽しくとりくめるように工夫されているのが大へん参考になりました。手話を知ることでコミュニケーションを楽しめるということは私自身も実感しているところです。

その他、たくさんの感想・ご意見をいただきました！

今後の参考にさせていただきます。

ありがとうございました。



難聴学級(中)



聴覚学習



心理検査



障害認識



音響学

今後の活動計画

平成21年10月31日(土)

秋の講演会(味覚糖UHA館)
『社会自立を意識した聴覚障害児・者の指導
—幼少期からの意思決定能力とコミュニケーション能力の育成—』
石原 保志 先生(筑波技術大学)

12月 中旬

平成22年 1月23日(木)

24日(金)

冬の学習会案内、機関誌30号発行
第3回代表委員会(滋賀県立聾話学校)
冬の学習会(予定:草津の町作りセンター)
『聴覚障害乳幼児の教育について』(仮)
庄司 和史 先生(信州大学)
『療育部における難聴合併症児への対応』(仮)
坂本 隆 先生(滋賀県立小児保健医療センター)
集録第11号発行・機関誌31号発行



3月 中旬

各地の研究会情報

詳細についてはそれぞれのホームページ (HP)
等もご覧ください。

第7回日本教育オーディオロジー研究会

日時:平成21年10月17日(土)

9:30~受付

10:00~11:00 講義Ⅰ

11:15~12:15 講義Ⅱ

13:30~講演

「教育オーディオロジーとは何か」(仮)

講師:筑波技術大学 大沼直紀氏

詳細はHPでご確認ください。

場所:宮城県医師会館大ホール

問い合わせ:研究会準備委員会

FAX:017-766-1834

学校公開のご案内

学校公開等のご案内です。必ず該当
校で詳細を確認の上、ご参加くださ
い。

☆京都府立山城高等学校

日時:10月10日(土)

午前9時受付

全体説明 9:30~10:20

聴覚障害教育についての説明・相談
10:40~12:00

お問い合わせ先

075-463-8261 FAX 075-463-8263

京都府立山城高等学校

聴覚障害教育部または教務部まで

☆兵庫県立神戸聴覚特別支援学校

①学校説明会

10月14日(水) 保育相談部、
小学部、高等部

10月22日(木) 幼稚部、中学部
日程:9:00 受付

9:25~9:55 全体説明

10:05~12:00 学部説明会

(学部の紹介、教育方針の説明、
授業見学)

12:00~12:30 個別相談、

寄宿舎見学(希望者のみ)

場所:本校大会議室

申込み・問い合わせ:兵庫県立
神戸聴覚特別支援学校 教頭まで

078-709-9301 FAX 078-709-0371

②公開研修会

1月6日(水)

時間は未定(午後の予定)

講師:神戸市立中央市民病院

耳鼻咽喉科 内藤泰先生

内容:「脳の話」

場所:本校大会議室

申込み・問い合わせ:兵庫県立
神戸聴覚特別支援学校 聴能室まで

078-709-9301 FAX 078-709-0371

*詳細は本校HPに載せますので、ご
覧下さい。

☆こばと聴覚特別支援学校

平成21年10月25日(日)

9:40~12:00

保育公開・校内作品展

※詳しくはHPでご確認ください。

☆京都府立聾学校

平成21年11月19日(木)

9:20~12:20

目的 聾学校教育についての理解を深め、聴
覚障害児の就学相談の一助とする。

対象 市町村教育委員会・小中学校・福祉施
設等の聴覚障害児教育に係わる関係者(今回は、
各学校等に在籍する幼児・児童生徒及び保護者
を対象としていませんので御注意ください。)

内容 学校見学

報告「聴覚障害児の発見からその後の
連携について」

報告「聴覚障害児教育について」

本校の教育についての質疑応答

詳しくは下記担当者に電話または
FAXにてご連絡ください。

京都府立聾学校 学校公開担当

平木新助 宛

開催場所 京都府立聾学校 会議室

〒616-8092 京都市右京区御室大内4

075-461-8121 FAX 075-461-8122

近畿教育オーディオロジー研究協議会事務局

事務局長 中井 弘征

〒639-1122

奈良県大和郡山市丹後庄町456

奈良県立ろう学校内

TEL:0743-56-2921

FAX:0743-56-8833

メール:h-nakai@indigo.plala.or.jp